25年度全体方針

Yawatahama Genki Project

1．中間支援事業の構築
→love yawatahamaコンソーシアム（みなと交流館）を通じた中間支援事業

2．独自事業の深化
→25年度は、まず「アートプロジェクト」の深化を図る

3．会員制度の見直しとメンバーの拡充
① 制度見直し
② 「この人と活動したい」と思ってもらう人間的魅力の発信
③ メンバーの強みを引き出す、居心地のいい「あたたかい」組織へ

4．ＮＰＯ法人化に向けた準備
→26年5月設立に向けて準備を行う

事業・活動イメージ

Yawatahama Genki Project

1．つながり事業

プロジェクトとプロジェクト、人と人、地域と地域等を結びつける事業。
つながりづくりを支援することで、人・プロジェクト・団体・まちの元気につなげることを目的にする。

交流活動

【内容】
メンバー間・地域内外の交流会の実施、地域活動団体ポータルサイト「ＴＵＭＵＧＵ」運営等

2．まち育て事業

プロジェクトの管理・応援を行うとともに、新たなプロジェクト立ち上げを行う事業。プロジェクト応援を通じて、社会を変革していくことを目的にする（維新＝Restoration）。

【内容】
まち育てワークショップ、まち育てプレゼンテーション、まち育て研修会等の実施
プロジェクト運営ノウハウの提供・物資の提供・人の紹介・ＰＲ活動・ドネーション（ファンドレイジング）活動支援・プロジェクト評価
新たな独自事業の起ち上げと従来の独自プロジェクトの深化　等

中間支援事業

love yawatahamaコンソーシアム
（みなと交流館）として原則実施

プロジェクト

YGPの独自事業として実施する

Yawatahama Genki Project

25年度のつながり事業

1．つながり事業

交流活動

- 「地域活動団体交流会・忘年会」（みなと交流館共催）の実施（12月）
- レクリエーション等メンバーが集まるイベントの実施（随時）

Yawatahama Genki Project

25年度のまち育て事業

2．まち育て事業

※　中間支援活動は、コンソーシアムで実施するため別途まとめて説明。

プロジェクト

【管理のみ】
- スマイルプロジェクト（販促・集金・イベント時の販売）
- オーナープロジェクト（フラワーゾーン定期清掃等）
- アグリプロジェクト（林野庁への報告）
- みかん味の落雁（契約書の締結・集金）

- **クリーンプロジェクトの実施（定期的な実施）**
  YGPの原点である「市民参加型清掃」のテコ入れ。
  多様な参加者を集め、横のつながりをつくる。
  原則、毎月１回実施する（別途スケジュールを設定する）。
  資源回収活動の実施及び回収方法の改善
  →資源回収による収入は、「八幡浜元気基金」（仮称）へ積み立てる準備をする。

- **アートプロジェクトの実施**
  かまぼこカーテンの活用・メンテナンス
  かまぼこ板を活用したプロダクト開発
  自転車リサイクルアートの取組
  寄付付八幡浜グッズの開発（26年度法人化に向けたＴシャツ等グッツの公募含む）

- **次期スマイルプロジェクトの深化に向けた準備**
  「笑人」を拡大解釈し、「商人」を含めた「人」と「笑顔」にスポットを当てたコンテンツ事業としてコア事業化（一部収益化）を目指す。
  →人・団体・商店・企業･･･の強みを引き出し、つなぎ、新しい価値をつくる。ファブレスな組織集団を目指す。
  情報誌「八幡浜笑人」については、情報の蓄積を行いながら、発行の手法（紙媒体or電子書籍化）の検討を行う。

Yawatahama Genki Project

25年度のその他の活動

3．その他の活動

- **テヤテヤよろずマーケットへの出展**　（事務局）
  ＹＧＰのＰＲの場として位置づける。「八幡浜笑人」の販売や資源回収、物販を含めたイベントなどを実施
- **渉外活動**　（事務局）
  基本方針として、ＹＧＰ内事業を優先するものとし、メンバーの参加可否などを考慮して、対応の可否を検討する。
- **八幡浜みなっと（みなと交流館）への事業協力**　（事務局）
  必要に応じて、ＹＧＰメンバー（サポーター含む）をボランティアとして動員する。
- **講演・委員輩出**　（事務局）
  市内外を問わず、積極的に行う。
  メンバーを積極的に活用して「魅せる」取組を行う。
- **ＰＲ活動**　（事務局）
  電子媒体以外（ポスター・チラシ・ニュースリリース・名刺・名札・旗・ステッカー・Ｔシャツ）の活用強化
  ＨＰ・ＦＢ等を通じた情報発信を積極的に行う。
- **サポーターを含めた支援者の対応**
  感謝の意を表明するとともに、定期活動の報告を継続。
- **研修・レクリエーション**　（つながり事業・事務局）
  メンバーのスキルアップを図るための研修、モチベーション維持のためのフォローアップ、親睦を深める交流会などを積極的に行う。
- **会計**　（事務局）
  現金の入出金処理、帳簿の記帳、予算・決算の作成、ＮＰＯ法人化に向けた会計基準の準備
- **評価**　（事務局）
  「エクセレントＮＰＯ評価基準」に基づく評価と公表、ＹＧＰアンケートの実施（年１回）と公表
- **ＮＰＯ法人設立に向けた準備**　（事務局）
- **役員会**　（事務局）
  原則月1回最終日曜日に行う。ＦＢグループで対応できることは対応するので定期閲覧し、確認意思として「いいね！」を押す。
- **情報共有**　（事務局）
  役員・サポーターについて、ＦＢグループ、シュガーシンク「ＹＧＰ共有フォルダ」にて継続して行う。
  写真・動画については、クオンプサービス終了にともない一時待避しており、新サービスへ移行を検討する。
  ＹＧＰメールについては、ライブドアのサービス終了にともないＧｏｏｇｌｅメールへ移行する。

Yawatahama Genki Project

25年度の役割分担

リーダー
濵田　規史

中間支援業務担当

監事　岡本 恭英

副リーダー
兼つながり事業責任者
鈴木　磨美

子どもが産まれました★

事務局長
市川　和人

みなと交流館職員
（館長補佐・love yawatahama課）

まち育て事業責任者
眞田井　良子

プロジェクト・イベント業務担当

→それぞれの「強み」を活かした事業展開、人を魅せる魅力の発信

Yawatahama Genki Project

会員制度の改正①

規約上の「YGPメンバー」

正会員

ＹＧＰの活動・運営に**積極的に参加**するメンバー

役員

YGP全体を運営・統括する**コアメンバー**
（リーダー・副リーダー・事務局・監事・つながり事業責任者・まち育て事業責任者）
ＹＧＰ正会員の中から選出する（毎年改選とするが、再任は妨げない）。

サポーター

ＹＧＰの活動に**参加（サポート）**するメンバー
→サポーターは、以下メニューから参加（サポート）メニューを選んでもらう。
労力提供（無償）・労力提供（有償）・人の紹介・物の提供・場所の提供・寄付・その他

プロジェクトメンバー

FBグループの「メンバー」として参加の意思を表明し、かつプロジェクトリーダーの承認を得たメンバー　　例）まち育てプレゼンで誕生したプロジェクトのメンバー

ボランティア　**インターン**

単発的・短期的にＹＧＰに参加（サポート）するメンバー。
規約上の条件はないが、育成し、「サポーター」登録してもらうよう誘導する。

Yawatahama Genki Project

会員制度の改正②

① **「正会員」**

ＹＧＰの活動・運営に積極的に参加するメンバー（居住地・年齢等要件はなし）
議決権あり。役員になれる。
年会費3,600円（高校生以外）／2,400円（高校生以下）
ＦＢ登録必須（属性情報は各自で更新）。連絡等はＦＢでのみで流すため。
「正会員届」の提出（写真はデータで提出）が必要。
ＷＥＢでの入会は不可。面談・会費徴収するため、紙ベース提出のみ受付。
ＦＢグループ「正会員」に登録。
ＦＢ等での連絡が１年以上取れない場合は自動退会。
名札配布（役員は名刺も配布）。
ＨＰでの紹介あり。

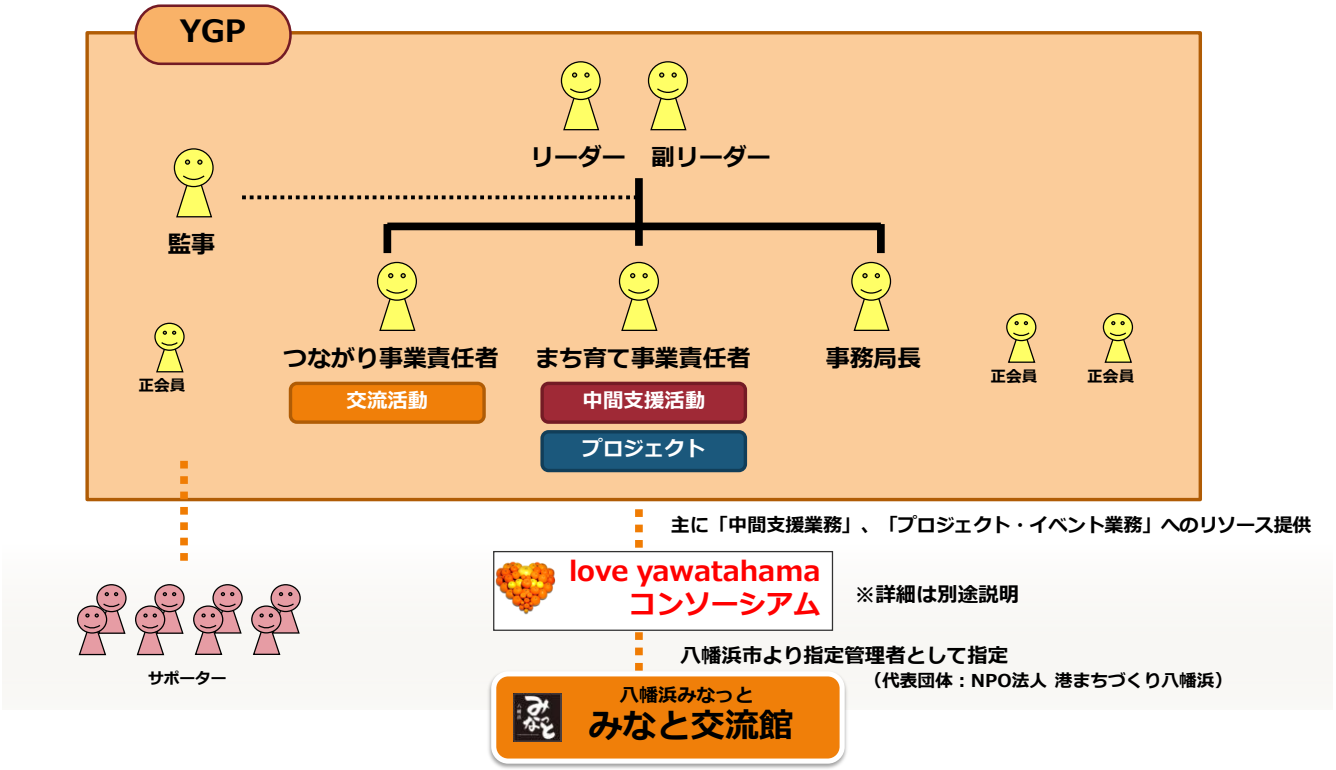
② **「サポーター」**

ＹＧＰの活動に参加（サポート）するメンバー（居住地・年齢等要件はなし）
最低１年に１回程度は実際の活動（年1回の総会含む）に参加ができることが目安。
サポートの方法は、物の提供、知恵・経験の提供、お金の提供、情報の提供、場所の提供等があげられるが、その人の強みを活かせるサポートを選択してもらう。
議決権なし。
年会費なし。
ＦＢ登録必須（属性情報は各自で更新）。連絡等はＦＢでのみ流すため。
「サポーター届」の提出（原則ＷＥＢフォーム（要写真提出）とするが、紙ベースでも可）が必要。
みなと交流館制定の**「個人登録シート」で「ＹＧＰ」を応援団体として指定する**ことで、「サポーター」になることも可能。
ＦＢ等での連絡が１年以上取れない場合は自動退会。
ＦＢグループ「サポーター」に登録。
必要に応じて名札配布。
必要に応じてＨＰでの紹介あり。

※　ＹＧＰ活動に対して寄付をする場合は、現金・振込によるものとする。
寄付は、正会員・サポーターを含め、メンバー以外でもできるものとし、回数・金額などは選択することができる。
※　単なる「応援する」、「共感する」だけのメンバーはＹＧＰメンバーには含めない。
→ＦＢページによる「いいね！」表明をしてもらう。
※　まち育てプレゼン等による「プロジェクトメンバー」は、ＹＧＰの会員制度外の取扱い。
ＨＰ等での紹介等は行うが、管理は各プロジェクトリーダーに委ねる。

Yawatahama Genki Project

組織図の再定義



平成25年度　YGP行事予定（案）

4月	●八幡浜みなっとオープニングイベント（八幡浜みなっと） ●自分の強みを発見する講座（八幡浜みなっと） ○八幡浜市ボランティア協議会役員会
5月	◎平成25年度YGP総会　25日（八幡浜みなっと） ●ボランティア講座　25日（八幡浜みなっと） ○NPO法人子どもチャレンジ支援機構八幡浜支部総会　11日（ロンドン別館） ○八幡浜市ボランティア協議会総会 ○テヤテヤよろずマーケット（新町ドーム）
6月	○福祉のつどい　9日（新町ドーム） ◎八幡浜クリーンプロジェクト　8日（北浜公園噴水） ○テヤテヤよろずマーケット（新町ドーム） ○八幡浜市ボランティア協議会役員会 ●自分の強みを発見する講座（八幡浜みなっと） ●まち育てワークショップ＆交流会（八幡浜みなっと）
7月	○テヤテヤよろずマーケット（新町ドーム） ◎八幡浜クリーンプロジェクト（北浜公園） ○八幡浜市ボランティア協議会役員会 ●まち育て研修会（八幡浜みなっと）
8月	◎八幡浜クリーンプロジェクト（北浜公園） ○テヤテヤよろずマーケット（新町ドーム） ○八幡浜市ボランティア協議会役員会 ●プレゼンテーション講座（八幡浜みなっと）
9月	◎八幡浜クリーンプロジェクト（北浜公園） ○テヤテヤよろずマーケット（新町ドーム） ○八幡浜市ボランティア協議会役員会 ●まち育てプレゼンテーション①（八幡浜みなっと）
10月	◎八幡浜クリーンプロジェクト（北浜公園） ○テヤテヤよろずマーケット（新町ドーム） ○八幡浜市ボランティア協議会役員会 ●ボランティア講座（八幡浜みなっと）
11月	◎八幡浜クリーンプロジェクト（北浜公園） ○北浜まつり（白浜地区公民館） ○テヤテヤよろずマーケット（新町ドーム） ○赤い羽根共同募金街頭募金活動（新町ドーム） ○八幡浜市ボランティア協議会役員会 ●CSR・協働・ファンドレイジング講座（八幡浜みなっと） ◎●地域活動団体との交流会・忘年会（八幡浜みなっと） ○八幡浜市ボランティア協議会役員会・忘年会
1月	○テヤテヤよろずマーケット（新町ドーム） ○八幡浜市ボランティア協議会役員会 ●まち育てプレゼン②（八幡浜みなっと）
2月	○テヤテヤよろずマーケット（新町ドーム） ○八幡浜市ボランティア協議会役員会 ●NPO法人講座（設立編）（八幡浜みなっと）
3月	◎八幡浜クリーンプロジェクト（八幡浜市民スポーツパークフラワーゾーン） ○テヤテヤよろずマーケット（新町ドーム） ○八幡浜市ボランティア協議会役員会 ●NPO法人講座（報告編）（八幡浜みなっと）

◎：YGP主催行事　　○：外部行事
●：コンソーシアム行事

※　YGPの事業期間は、4月1日～3月31日です。
※　日・場所は確定している行事のみ記載しています。

平成 25 年度 YGP 予算計画書

【収入の部】

大区分	中区分	H24 予算額	H25 予算額	比較増減
事業収入		530,997	178,000	△ 352,997
	つながり事業収入	0	0	0
	まち育て事業収入	0	0	0
	スマイルプロジェクト事業収入（※）	458,197	100,000	△ 358,197
	イベント参加収入	10,000	10,000	0
	ＹＧＰグッツ売上収入	15,000	30,000	15,000
	その他事業収入（落雁販売手数料収入）	37,800	20,000	△ 17,800
	その他事業収入（資源回収収入）	10,000	18,000	8,000
				0
会費収入		10,800	36,000	25,200
	正会員収入	10,800	36,000	25,200
		0	0	0
寄付金収入		10,000	10,000	0
	一般寄付金収入	10,000	10,000	0
助成金収入		0	0	0
	つながり事業助成金収入	0	0	0
	まち育て事業助成金収入	0	0	0
	スマイルプロジェクト助成金収入（※）	0	0	0
				0
受取利息配当金収入		80	80	0
その他の収入		5,000	5,000	0
	講師等報酬	5,000	5,000	0
	その他の収入	0	0	0
収入合計(A)		556,877	229,080	△ 327,797

【支出の部】

大区分	中区分	H24 予算額	H25 予算額	差額
事業費支出		720,000	85,000	△ 635,000
	つながり事業費	25,000	10,000	△ 15,000
	まち育て事業費	30,000	50,000	20,000
	スマイルプロジェクト事業費（※）	650,000	10,000	△ 640,000
	イベント参加費	5,000	5,000	0
	その他事業費	10,000	10,000	0
				0
管理費支出		71,000	181,000	110,000
	人件費支出	0	0	0
	諸謝金	0	0	0
	旅費交通費	2,000	2,000	0
	研修費	0	0	0
	消耗品費	5,000	5,000	0
	器具什器費	5,000	50,000	45,000
	印刷製本費	5,000	15,000	10,000
	水道光熱費	0	0	0
	燃料費	0	0	0
	修繕費	5,000	5,000	0
	通信運搬費	5,000	5,000	0
	会議費	5,000	5,000	0
	広報費	10,000	10,000	0
	業務委託費	16,000	16,000	0
	手数料	2,000	2,000	0
	損害保険料	5,000	5,000	0
	賃借料	0	0	0
	租税公課	0	0	0
	渉外費	3,000	3,000	0
	諸会費	3,000	3,000	0
	雑費	0	55,000	55,000
支出合計(B)		791,000	266,000	△ 525,000
予備費(C)		50,000	50,000	0
当期収支差額(A)-(B)-(C)		△ 284,123	△ 86,920	197,203
前年度繰越金		552,036	294,351	△ 257,685
次年度繰越金		267,913	207,431	△ 60,482

※　スマイルプロジェクトについては、別項目で計上しています。